

「建交労とうきょう」はい
つでもみなさまからの記事
や写真を待っています。

(メール) tohonbuenkouro@sm
ile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労

のとうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる(〒60円)

9・13 第23回建交労東京都本部定期大会開催!

9月13日(月)、一年間の運
動方針を決定する、第23回都本
部定期大会が、トラック健保会館
にて63名の参加で行われました。
三密回避、ソーシャルディス
タンス等を考慮し、13時~16時
での短時間での開催、傍聴の出席
も自粛を呼びかけるコロナ禍での
大会となりました。浅井副委員長
より開会挨拶、議長等諸役員推薦
の後、松田執行委員長より主催者
あいさつ、続いて激励あいさつを、

中央本部角田季代子執行委員長よ
り受けました。その後、議案提案
を行い、1号議案(経過報告)で
は、20春闘は、緊急事態宣言が
出されるなど、新型コロナウイルス
感染症が拡大の猛威を振り、多く
の行動や集会が中止となる中、た
たかわれたことを報告しました。

バス関連支部(京王新労組)は、
全労連ストライキ統一行動におい
て、職場内決起集会に決起しまし
た。また、各職場の新型コロナウイ

2号議案(2020年度運動方
針)では、コロナ禍での組織運営
について、各組織は、感染対策に
十分注意し、リモート会議の併用
も検討し定期的な開催を呼びかけ
ると共に、労働法制改善を許さな
いとくみ、政治闘争強化を強調
しました。

20秋季年末闘争については、
一斉要求提出日が10月14日
(水)であること、また、今回は
じめて5号議案として中・長期的
に、都本部が進むべき方向性を確
立すべく「建交労東京都本中期計
画」を提案しました。その後、ま
とめの発言を行いました。
(事前)に活動報告
の文書発言の提出が3
名の仲間からありまし
た。(争議団紹介では
バス関連支部(京王新
労組)の仲間より決意
表明がありました。役
員体制は、本大会で浅
井健一執行委員長、
上村誠常任執行委員、
漆原進執行委員が退任
新たに清水文雄執行委
員が副委員長に、青木
実さんが執行委員に新
任されました。



【開会挨拶をする松田執行委員長】



【団結して頑張ろう!】

コロナ禍、安倍首相
辞意表明など、新しい
局面での大会となりま



【闘いは続きます!バス関連支部(京王新労組)】

【都本部書記長 遠藤晃】

■新執行部■

執行委員長	松田 隆浩
副委員長	石塚 和
副委員長	清水 文雄
書記長	遠藤 晃
書記次長	笹原 和樹
執行委員	青木 実
執行委員	秋元 秀樹
執行委員	石川 英一
執行委員	江部 明子
執行委員	斉藤 芳和
執行委員	佐々木 仁
執行委員	永井 英志
執行委員	畠中 博資
執行委員	藤田 誠
執行委員	宮本 禮三郎
執行委員	村上 久美子
執行委員	世永 勝
会計監査	真田 幸夫
会計監査	高田 桂子

8月22日(土)バス関連支部(京王新労組) JR中央線武蔵小金井駅前宣伝行動開催

バス関連支部(京王新労組)は8月22日(土)JR武蔵小金井駅前宣伝行動を行いました。当日は、三多摩労連坂ノ下事務局長や菅原副議長、国交労組、東京トラック協会や建設・関連部会などの仲間が駆けつけ、駅前ロータリーで京王バスを待つ利用客に向けて、会社が行っている組合差別の実態を訴えました。京王電鉄の子会社京王バスでは、運転士の給料は評価制度に基づいて支払われており、評価は会社が求める増務・残業に依れば応じる程上がる仕組みになっています。そのため、運転士の中には16時間の連続運転を行う者もあり、体調不良が原因で交通事故が起きるなど、公共交通の安全が脅かされています。会社は、運転士に長時間労働を押し付けるのではなく、運転士を増やし、一人当りの運転時間の削減と、大幅賃上げをすべきです。このようなバス運転士の労働環境は、京王だけではありま



バス運転士の実態を訴える佐々木仁委員長

せん。バス産業全体で分社化による賃金引き下げ、長時間労働が行われています。年収では、他の産業よりも100万円低く、慢性的な運転手不足が問題となり、国土交通省でバス運転手を確保するための検討会まで立ち上げられています。バス関連支部(京王新労組)では、こうした事態を変えようと会社に対して改善を求めてきました。会社は、改善策に応じるところか、報復措置として長年、組合差別を行っていました。30年間無事故無違反で優良運転士の職歴を持つ佐々木仁委員長を、バス運転士として再雇用せず時給1000円、週3日の車両清掃を強いるなど、許されない攻撃を行っています。賃金昇格差別、雇用差別等のたたかいはこれからも続きます。どうかご支援をよろしくお願い致します。

クラスター発生場所は病院が最多～国の診療報酬改悪が感染拡大を引き起こす～

6月の集計時点で、国指定感染症の中で第2類内では238件のクラスターが発生している。発生源の第1位は病院だ。第4類にはインフルエンザは全体の35%を占め、飲食店の倍である。感染者を受け入れ治療する事が社会的使命の病院は、投げなければ決して打たれる事のないボールを投げなければならぬ。ピッチャーの存在のようだ。ダイヤモンドプリンセス号の感染者を受け入れた横浜市立市民病院は、神奈川県唯一の第1種感染症指定医療機関で、この5月に移転・新規オープンした。(新型コロナは) 新たな病棟の約半分を多床ベッドにしなければ病院は採算が取れないのだ。国は、国民の命と健康を守る事を最優先すべきだ。

病棟でのクラスターを防ぐには何と言っても個室が必須だ。トイレと洗面台も室内にあると尚良。しかし日本の場合個室を積極的に整備出来ない事情がある。国の診療報酬改悪により病棟の約半分を多床ベッドにしなければ病院は採算が取れないのだ。国は、国民の命と健康を守る事を最優先すべきだ。

8月29日(土)30日 建交労中央本部 第22回定期大会

8月29日(土)～30日(日)にかけて、建交労中央本部は第22回の定期大会を開催しました。例年2泊3日で開催していましたが、今年は情勢を考慮し時間を大幅に短縮、また、来賓や代議員、傍聴など参加者を大幅に縮小しての開催となりました。冒頭に開会の挨拶をした角田中央執

行委員長は「新型コロナウイルスの世界的感染拡大や大規模な自然災害が起こる中、貧困と格差の拡大、生きる事そのものが危機に陥っている。これらは、新自由主義を進めて来た事が根本原因だ。エッセンシャルワーカーとして暮らしを支える労働者の実利獲得を目指しましょう。」と訴えました。全国の職場支部や業種部会からは、各地で奮闘する仲間の力強い活動が報告されました。また、



退任挨拶をする神田支部中島委員長

建交労東京都本部第23回定期大会 文書発言 ～1面の続き～

建交労東京都本部第23回定期大会は、コロナ禍の中で時間を大幅に短縮しての開催となりました。発言は議案に対しての質疑がある代議員のみとし事前の文書発言にご協力を頂きました。神田支部、関東支部、東部支部から文書発言がありました。■神田支部 19年秋季年末闘争、20年夏季一時金交渉では前年を突破した。20年春闘交渉では制度面が前進。その他、組織建設・組織拡大や学習活動・広報活動について大奮闘している様子について報告。■関東支部 コロナ禍で感染リ

第23回定期



方針を提案する遠藤書記長

組合掲示板

- 11月 5日(木)～6日(金)～建交労秋の中央行動
- 11月 8日(日)～東京地評青年協東京ジャック
- 11月21日(土)～22日(日)中央本部21春闘討論集会
- 12月 6日(日)10時～建交労東京都本部春闘討論集会/トラック健保会館

スクと隣り合わせて収集業務を行っている状況について報告。9月27日に支部の定期大会を開催予定。経営者には社員化を一層求めていく。人手不足が深刻、社員補充は緊急課題。

■東部支部 組織拡大検討委員会の中間報告について報告。労働相談を組織化に結び付けるため相談員の体制作り、受け皿作りが急務。多くの皆さんのご協力をお願いしたい。